

二宅恒方 つねひか 昆蟲學者、理學博士。明治十二年五月石川縣生乳、  
 大正十年二月一日歿（二六〇—一九二）。號丁夢廬人。縁ゆかりく隨筆を能くし  
 た。二宅雪嶺の弟、妻は小説家兼評論家二宅やす子、二宅艶子はその  
 長女。

著書『第二感之交へく』（大正十年六月二十八日實業之日本社）、『私  
 の宿屋觀』（大正十年十一月二十八日春陽堂）、『旅と私』（大正十  
 一年一月十日實業之日本社）、『新坂町めら』（大正十一年二月十五  
 日實業之日本社）、『昆蟲學研究要義』（大正十一年七月十五日岩波  
 書店）、『學者藤栗毛』（昭和四年五月二日富士書房・春陽堂）等。

